

## （３）地震・津波時の機動的対応

2017年4月28日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

機動的な対応で使用する消防車等については、重要設備であることから、いざとなったときに役立てる、機動的対応が出来るようにしておいていただきたいと思います。

もしもの時にすぐに対応できるようにキチンと管理してほしい。

最悪の場合、津波が1Fの敷地内に押し寄せた、冷却が止まった、その時の炉心の冷却については、これだけの設備と運用を持って当たっていますという説明をして頂きたい。

## ■ 体制

緊急時体制のうち，復旧班員（16名），運転班員（9名）が機動的対応を行う。

復旧班員，運転班員は交代で24時間待機しており，各々の役割が割り振られている。

## ■ 手順書

炉注水，使用済燃料冷却系の手順書は，事故時操作手順書（事象ベース）もしくは異常発生時対応手順書として整備している。

# 1 - 2. 機動的対応（訓練，資機材）

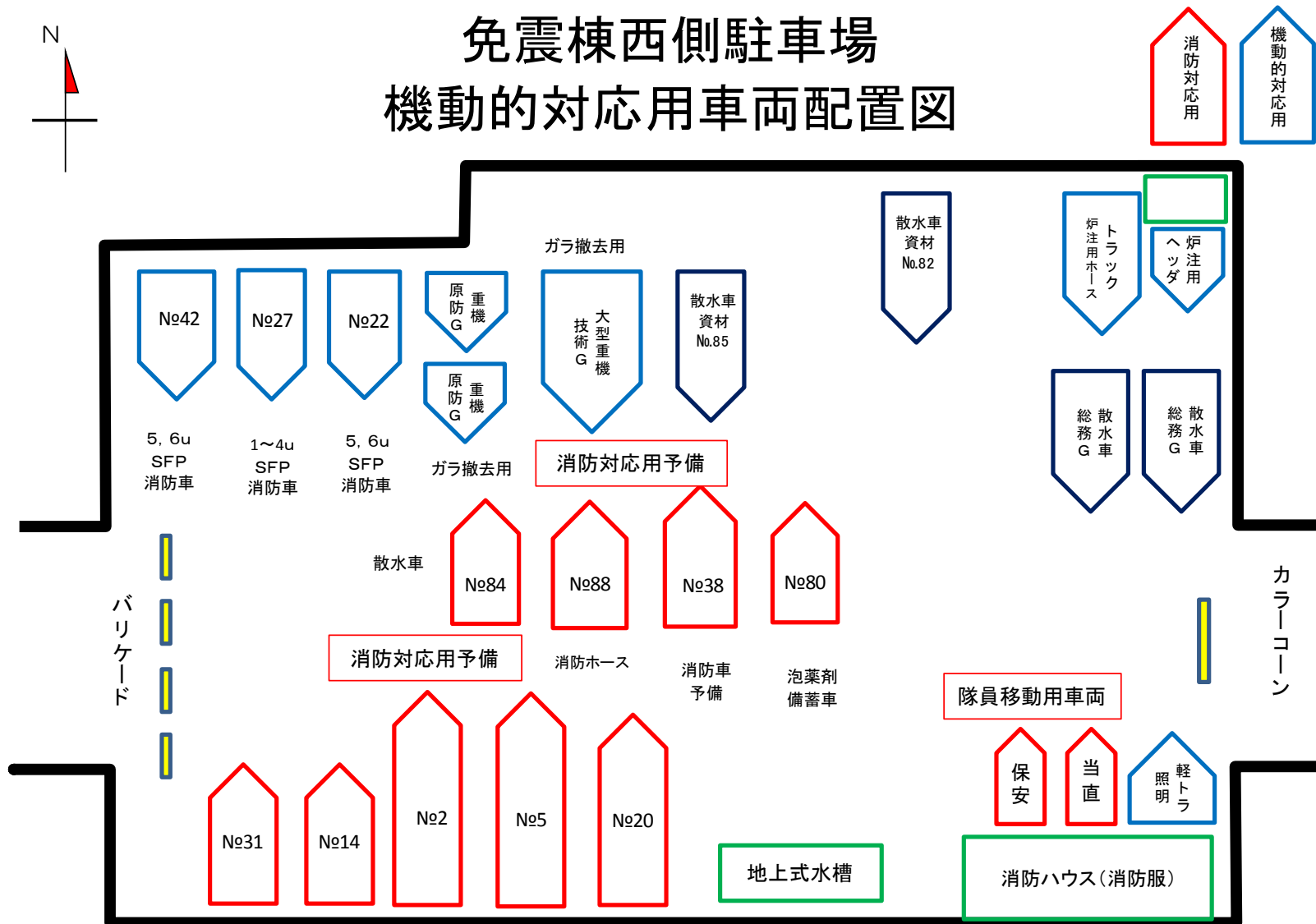
## ■ 訓練

訓練内容	アクシデントマネジメント訓練
実施期間	平成27年10月23日～平成28年12月7日 (平成27年度防災訓練～平成28年度防災訓練まで)
訓練実施回数	17回
参加人数	延べ114名
概要	原子炉注水機能喪失時における仮設プールを用いたホウ酸水注水及び再臨界評価の技能習得を目的とした訓練を実施した。 また、燃料プール漏えい時における漏えい量やTAF 到達時間の評価に関する技能習得訓練を実施した。

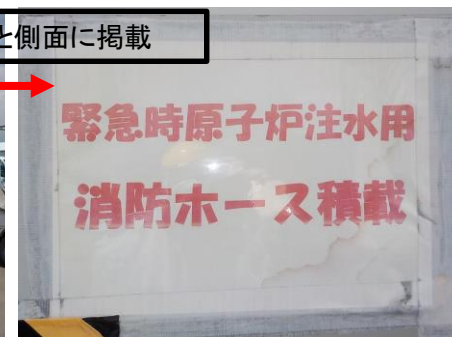
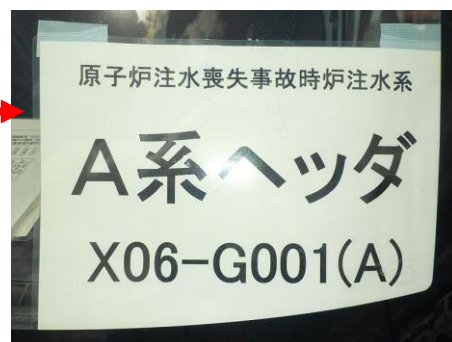
現場対応力の向上を図ることを目的に、機動的対応用の資機材を使用したより実効的な訓練を継続的に実施する。

## ■ 資機材 別紙参照

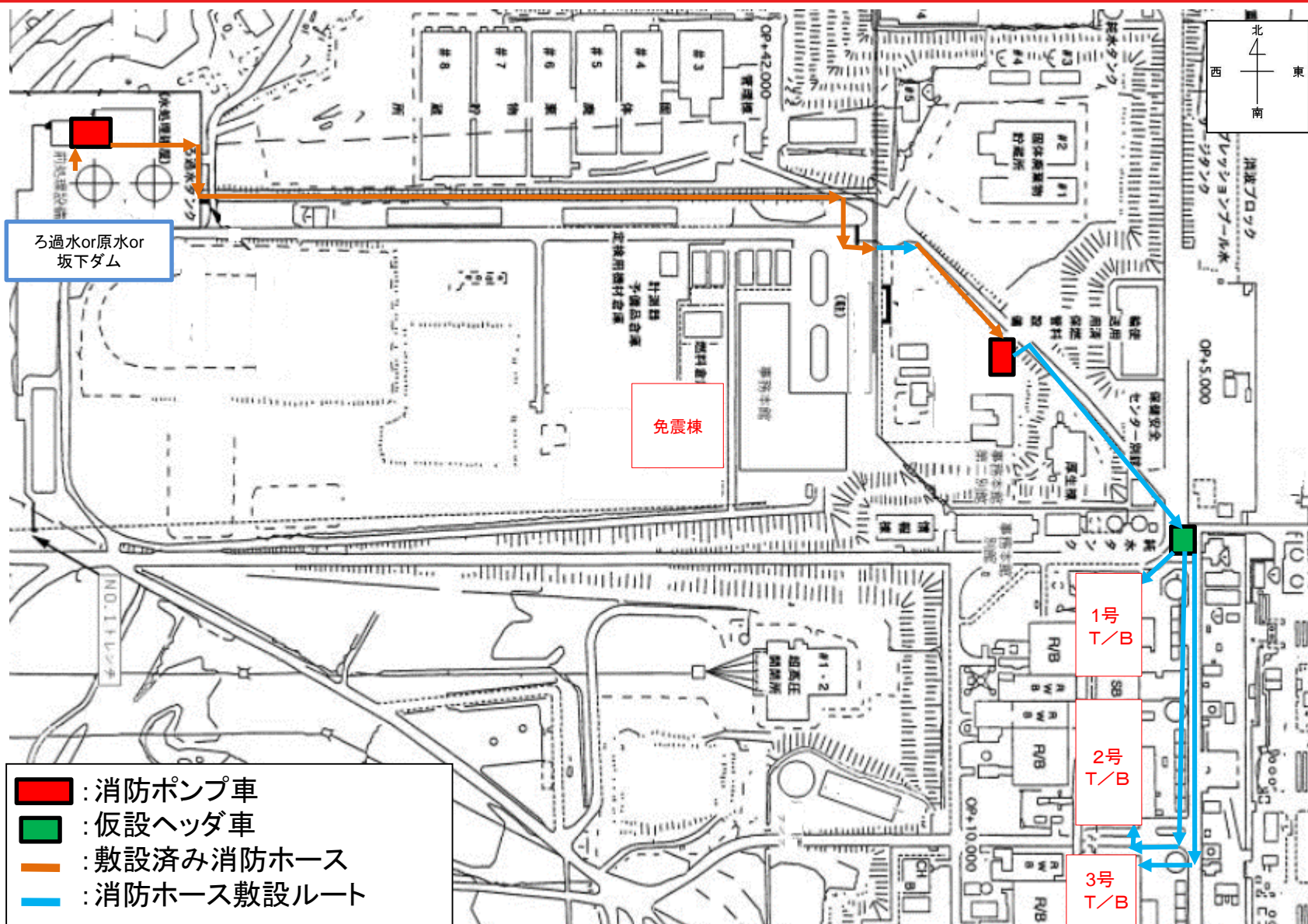
# 1-3. 機動的対応車両配置図



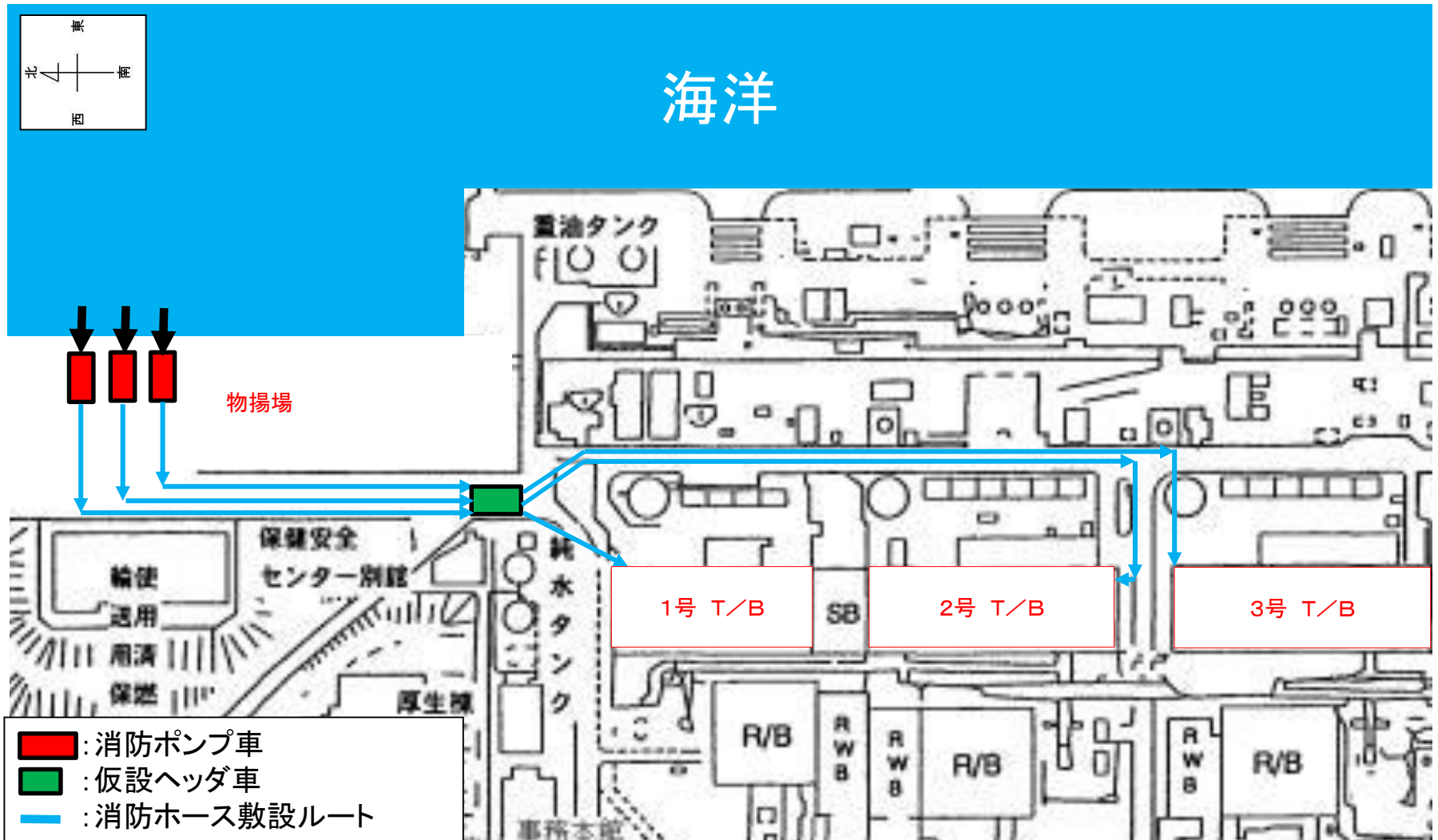
# 2-1. 異常時原子炉注水車両配備について



## 2-2. 各タンクを水源とした場合の原子炉注水

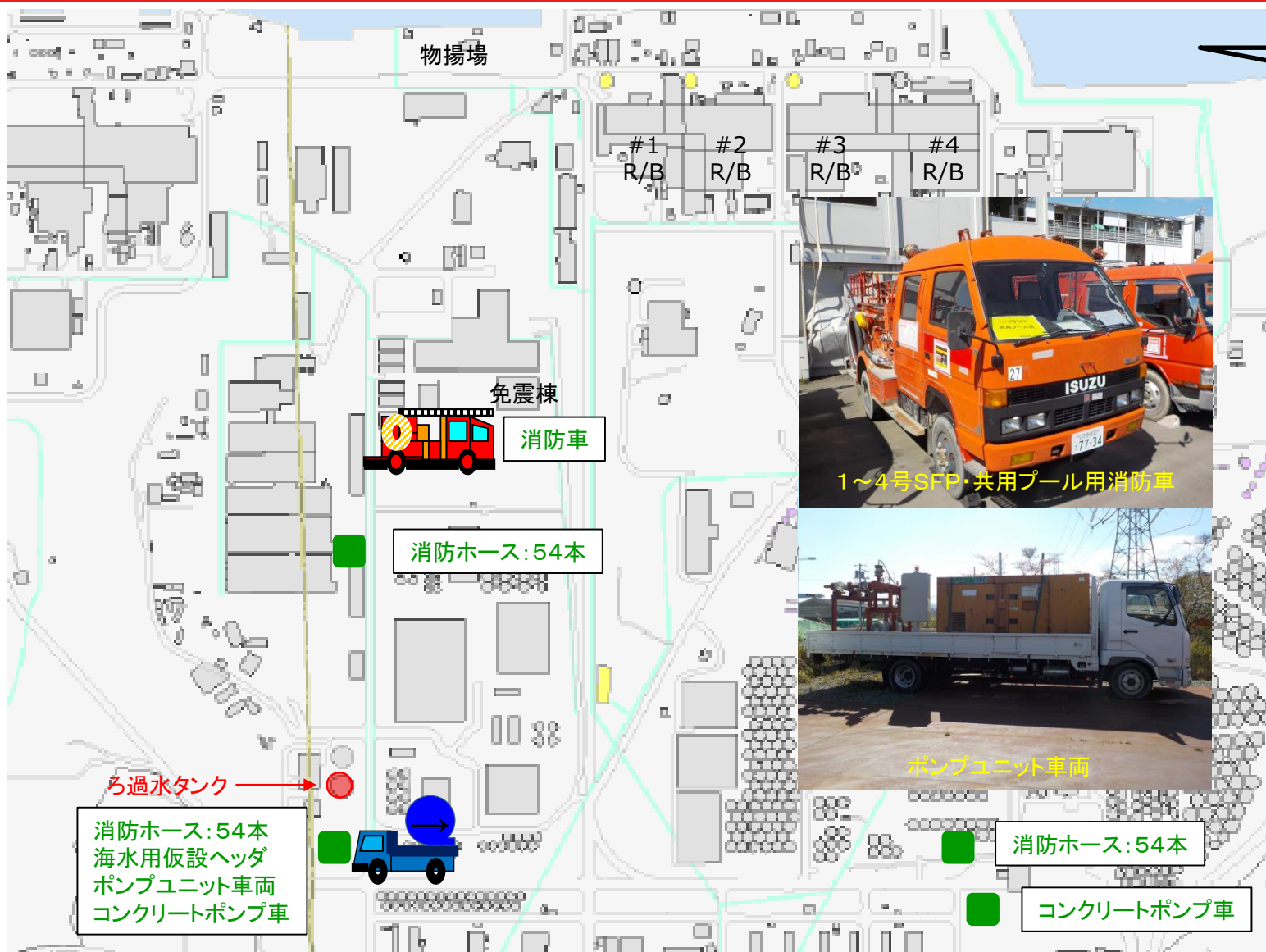


## 2-3. 海水を水源とした場合の原子炉注水

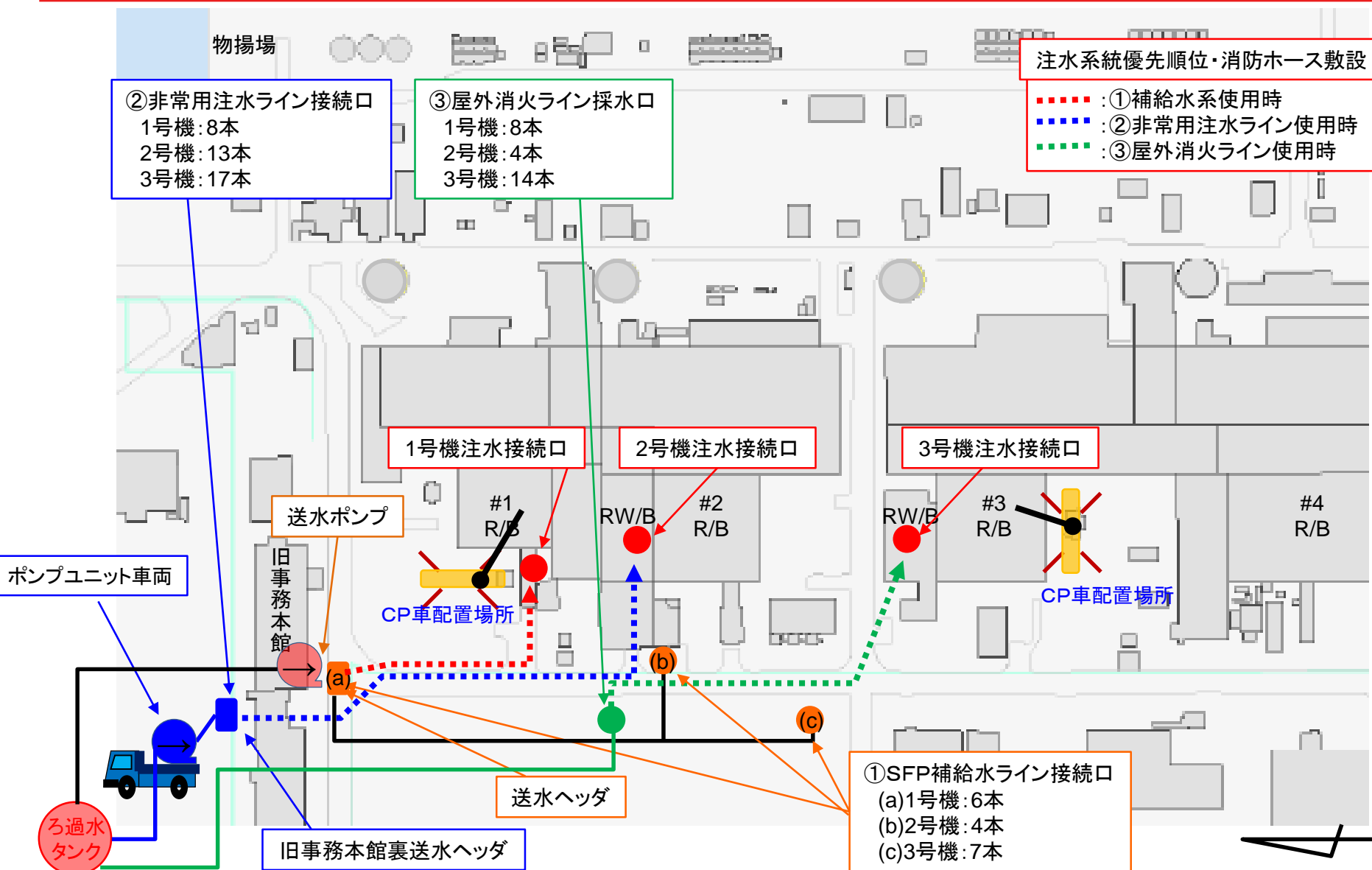




# 3-1. SFP注水 資機材の配備場所



# 3-2. SFP注水 建屋周辺 (淡水使用時)



# 3-3. SFP注水 建屋周辺 (海水使用時)

